

北海道札幌視覚支援学校



# 学校だより

令和8年度 第1号

令和8年4月25日発行

〒064-8629

札幌市中央区南14条西12丁目1番1号

TEL 011-561-7107

URL <http://www.sapporoshikaku.hokkaido-c.ed.jp>

## 今年度の本校の

### 重点的取組への想い

校長 井上 敬

4月8日に令和8年度の入学式および始業式を行い、今年度の教育活動が始まりました。本校の教育目標は、【意欲的に学び、考える人】、【心を豊かに伝え合い、思いやりのある人】、【健康で、たくましく活動する人】です。

この教育目標の実現に向けて、学校経営方針に具体的な取組を掲げ、教職員が一丸となって保護者の皆様や地域の皆様とともに教育活動を進めてまいります。今年度も皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ここでは、学校経営方針の中から、今年度の重点的取組についてご紹介いたします。

令和8年度の重点的取組は、【視覚障がい教育の拠点校としての役割の発揮と、主体的で豊かな学びと交流に満ちた幸せを実感できる学校作り】です。

道内には、本校のほかに、幼稚部から中学部までを有する盲学校が、函館・帯広・旭川にありますが、幼稚部から高等部普通科、さらに専攻科までを有するのは本校のみです。また、本校には、理療

(あん摩マッサージ指圧・はり・きゅう)の資格を取得した専攻科生の卒後研修を行うことができる附属理療研修センターも設置されています。

そこで、重点的取組の前段には、次の3つの機能を【視覚障がい教育の拠点校としての役割】として掲げました。

- 教育機能：幼児児童生徒への一貫した教育と寄宿舎指導等
- 理療機能：専攻科生の卒後研修、理療教育の充実、理療の調査・研究・普及等
- 支援機能：教育相談、地域支援、研修・研究支援等

重点的取組の後段は、昨年度の学校評価の結果を踏まえて設定しました。幼児児童生徒の皆さんが、さらに自ら学ぶことに取り組めるよう、教職員はその力を伸ばす授業や指導を目指すという意味を込めて【主体的】という言葉を加えました。また、本校は個々に応じた手厚い指導を行いやすい環境にありますが、少人数学級も多く、協働的な学びや他者との関わりをさらに進める必要があることから【交流】という言葉を加えました。

【幸せ】という言葉は昨年度に引き続

き用いていますが、幼児児童生徒の皆さんに「できた」「わかった」など、自分の成長をより意識してもらえるように【実感】という言葉を更新に加えました。

重点的取組の【幸せ】は、【ウェルビーイング】と言い換えることもできます。ウェルビーイングとは直訳すると【よい状態】であり、心も体も、人とのつながりも心地よく保たれている状態を指します。私は、幼児児童生徒の皆さんにとってのウェルビーイングとは、前向きに、自分らしく、感謝を忘れず、互いに支え合いながら挑戦を続けることができるあり方だと考えています。そして、幼児児童生徒の皆さんが【学びたい】、教職員が【働きたい】、保護者の皆様が【学ばせたい】、地域の皆様が【繋がりたい】と実感していただける学校を目指してまいります。

今年度も、どうぞよろしく願いいたします。

## 入学式の様子



4月8日（水）、「北海道札幌視覚支援学校」として12回目の入学式が行われ

ました。小学部1名、中学部2名、高等部普通科5名、高等部専攻科4名、合わせて12名の新入生を迎えました。

新しい学校生活への期待に満ち溢れた緊張感のある式を行うことができました。新入生の年齢層は幅広く、多様性に富んでいて、これからの学校生活でお互いにより刺激を与えあうことになりそうです。

新入生を代表して、高等部普通科1年の太田貴一朗さんが、力強く誓いの言葉を述べました。

## 国家試験合格者

2月21・22日に実施された国家試験の結果は、下記の通りです。

○第34回あん摩・マッサージ・指圧師試験	7名合格
○第34回はり師試験	4名合格
○第34回きゅう師試験	5名合格

## 部活動紹介

【①アート部】：アート部は、中学部から専攻科まで幅広い学年の生徒が、さまざまな素材や技法を凝らして楽しく自由に作品を制作しています。学校祭では、共同制作などにも挑戦して、作品を多くの方に発表しています。

【②音楽部】：小学部から専攻科までの15名が所属しています。合唱と器楽の練習を主に週に1回ずつ行い、学校祭での発表やホールでの演奏会を目標に活動しています。昨年度はルーテルホー

ルにて演奏会を実施し、たくさんのお客様の前で日頃の練習の成果を発表することができました。今年度もみなさんと楽しい時間を過ごしましょう。

【③軽音部】：軽音部は、現在3名の部員が、ギター、ドラムを練習しています。皆さんも自分で音を出したり曲を演奏する楽しさを経験してみませんか？上達したらライブをしましょう！見学や体験お待ちしております！

【④手技療法部】：手技療法部は、普段授業で学べないあん摩マッサージ指圧の手技の習得・技術の向上を目的に、毎週火曜日に活動しています。現在、部員は5名です。

過去に行ったものとしては、フェイシャルマッサージやリフレクソロジー（足ツボマッサージ）などがあります。昨年度は脚のオイルマッサージやハンドマッサージ、チャンピサージ（インド式頭部マッサージ）に取り組んでいます。また、日頃の成果を発表する場として、校内の先生方に対し施術を体験して頂く機会を設け、好評を得ました。

今年も新たな手技を習得して、校内の皆様体験して頂けるような活動を行っていきます。

【⑤スポーツ部】：スポーツ部は、フロアバレーボール、陸上、水泳などの種目による部門に分かれています。希望者がいる場合には、パラサイクルやSTT、ゴールボールにも取り組んでいます。フロアバレーボールは、全国大会が今年の8月に沖縄で開催されます。大会での勝

利を目指し、日々練習を重ねています。

5月末から6月にかけて開催されるすずらんピックでは、陸上や水泳、STTの練習成果を発揮することができます。この大会で活躍することで、10月に行われる全国障害者スポーツ大会に出場することも可能になります。

パラサイクルでは、本校でこの競技と出会い、現在では日本代表選手として活躍している人がいます。このようにスポーツを楽しみたい人から、アスリートを目指したい人まで幅広く、笑顔で楽しく活動しています。

【⑥SMBC（札幌音楽放送部）】：

SMBC（札幌音楽放送部）は、給食時間と昼休みを有意義な時間として過ごすことができるよう、放送活動を行っています。幼児児童生徒の皆さんからリクエストされた音楽をかけたり、お話給食の朗読を録音して流したり、給食や学校に関する様々な話題を伝えたりしています。友達や先生、学級での話題づくりのきっかけになることや給食時間と昼休みに息抜きすることを目指し、放送活動しています。

### 子ども相談支援センター 相談窓口のお知らせ

いじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩み、子育て・しつけなど家庭教育に関する悩みなどを相談してください。

●電話相談  
0120-3882-56  
(無料、毎日24時間対応)

●メール相談  
sodan-center@hokkaido-c.ed.jp  
※急ぎの場合は電話相談を利用してください。

●来所相談  
(10~16時、土日・祝日、年末年始はお休みです。)

子ども相談支援センター  
札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館  
8階

※上記の電話相談で予約してください。  
※子ども相談支援センターのWebページに、「相談事例」を掲載しています。

子ども相談支援センターの  
Webページはこちら→



## 転入者紹介

- ◇事務主任  
石田 浩一 (札幌工業高校から)
- ◇指導実習助手  
木川 佐恵 (稚内養護学校から)

### < 1学期の主な予定 >

- 5月 1日 開校記念日
- 6日 振替休日
- 7日 全校朝会
- 15日 春の遠足  
(幼小学部)

- 19~22日 見学旅行  
(普通科2年)
- 6月 6日 運動会  
(幼小学部)
- 9日 前期中間考査  
(中学部)
- 10~12日 前期中間考査  
(高等部)
- 17~19日 見学旅行  
(中学部3年)
- 25~26日 宿泊研修  
(小学部5年・  
中学部2年)
- 7月 2日~3日 見学旅行  
(小学部6年)
- 3日 盲学校弁論大会  
北海道予選
- 7日 たなばた会(幼稚部)
- 27日 1学期終業式  
(幼小中)
- 集会(高等部)
- 28日~8月24日  
夏季休業日

**保護者の皆様**

本校では、幼児児童生徒が安全な環境で生活できるように、不審者等への対策として、来校される方に、ネームプレートを付けていただいています。つきましては、学校、寄宿舍それぞれの玄関に、ネームプレートを用意いたしましたので、校内に入られる際には、首から提げただくようよろしくお願いいたします。

なお、入学式や学校祭など受付を設置している行事については、その必要はありません。